

他産業(企業)と連携して主要作物である馬鈴薯・長芋収穫繁忙期(9月・11月)に不足する農業労働力を確保する。

### 事業実施主体構成員

とかちアグリワーク  
(十勝管内22J Aの馬鈴薯・長芋作付農家)

### 実績値(目標値)

- ①馬鈴薯収穫作業の求人充足率：実績値82%(目標値85%)
- ②長芋収穫作業の求人充足率：実績値89%(目標値85%)

## 令和5年度取組み内容

### 今年度の取組み内容

#### ア 労働力の需給状況の把握(地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

「1日農業バイトdaywork」のシステム内の統計データを活用して需給状況の把握を行っている。

R5実績(12月時点):

農家利用戸数: 444戸、求職者数: 7,488人、求人数: 32,778件、応募数: 52,570件、成立数: 30,374件  
全体のマッチング率: 92%

#### イ 産地内での労働力確保・育成

- ・とかちアグリワークとしては、2019年から求人サイト「1日農業バイトdaywork」を本格的に活用。  
過去5ヶ年成立人数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
4,224人	11,676人	18,424人	24,243人	30,374人

現在、十勝管内23J A中22J Aがとかちアグリワークに参加し、「1日農業バイトdaywork」を利用している。

- ・殆どのJ Aは無料職業紹介所を開所して同アプリを利用しているが、各J A農家で不足する労働力は人材派遣会社や外国人技能実習制度・特定技能制度・インターンシップ制度等を活用し確保している。

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

<他産地と連携した労働力確保>

- ・馬鈴薯収穫時期(9月)と長芋収穫時期(11月)に他産業(企業7社)と連携し、労働力17名の受入れを実施。  
馬鈴薯 ……第1回9月1日～9日(実労9月2日～9月8日)4名、第2回9月8日～16日(実労9月9日～15日)1名  
長芋 ……第1回10月27日～11月4日(実労10月28日～11月3日)4名、第2回11月3日～11日(実労11月4日～10日)8名  
受入JA ……馬鈴薯3JA(豊頃・帯広川西・幕別)、長芋2JA(帯広川西・幕別)  
連携企業 ……JR東日本5名、(株)長大6名、(株)ウフル1名、(株)バイテックエネスタ1名、リコーリース(株)1名、  
富士通(株)1名、(株)レスター3名(内1名2週参加)
- ア 募集する労働者の居住地(出発地): 首都圏(羽田空港発着限定)
- イ 労働場所(目的地): 十勝管内のとちちアグリワーク参加JA組合員の圃場
- ウ 宿泊場所: 帯広市内ホテル
- エ 募集条件: 交通費・宿泊費は無料(食費は自己負担)、実労働期間7日間が必須条件

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・とちちアグリワークが推進している「1日農業バイトdaywork」求人サイトでのマッチング  
R5実績(12月時点):  
農家利用戸数: 444戸、求職者数: 7,488人、求人数: 32,778件、応募数: 52,570件、成立数: 30,374件  
マッチング率92%
- ・求職者の属性についてデータベース化し、求人情報の発信に活用している。

オ 農業の「働き方改革」への取組

- ・農業者向けに「農業における働き方改革セミナー」を「農業における働き方改革を考える」で北大東山教授に、「昨年度農作業事故状況と事故防止ポイント」で北海道農作業安全運動推進本部清野事務局長にご講演頂き令和6年2月6日に実施
- ・農作業事故防止普及啓蒙動画を作成し、同セミナーで視聴すると共に北海道農作業安全運動推進本部に動画提供、とちちアグリワーク参加JA組合員に動画の周知、又とちちアグリワークYouTubeチャンネルに動画をアップする。

## 本事業取組みにおける成果項目

- ・企業職員の中で農業に興味がある職員が多くいることが分かった。
- ・より多くの企業連携が出来ればより多くの企業職員を誘致することが出来ると思われた。
- ・農作業を実際に体験するだけでなく、農作業終了後にJA施設視察見学を実施した。参加者から非常に好評であったことから企業職員の研修としての構想が生まれた。

## 次年度以降の取組み内容

- ・他産業連携事業としての企業側の意向調査の実施
- ・企業側の職員研修（新人研修等）の位置付けとして他産業連携への提案
- ・他産業連携事業の周知活動としてイベント等への積極的な参加
- ・働く側の働き方改革セミナーの実施
- ・農作業事故防止普及啓蒙動画作成